



# 泰山木

ホームページ <https://bakuro-e.takaoka-school.jp>



## 教育実習

校長 森田 芳栄

体育館から、威勢のよいかけ声や清らかな歌声、迫力のある合奏や気持ちのこもったせりふが、毎日波動のように伝わってきます。子供たちは今、10月6日（日）の学習発表会に向けて真剣に練習しています。今年のスローガンは『主役は君だ！ 輝け みんなの努力 ステージで 作品で』です。学習発表会では、一人一人が持ち味を發揮しながら仲間と共に表現し、知恵と力を結集して最高の舞台を創り上げてくれることを願っています。

さて、今月2日から、教員を目指す大学生2名が教育実習を行っていましたが、昨日が最終日でした。本校教員の授業を観察したり、学校という組織や施設について体をかけて学んだり（←大変助かりました）、実際に自分で授業を試みたりと、大学で学んだことを現場での実践に落とし込んでみるという、大変有意義な15日間だったのではないかと思います。



放課後、教材研究をしたり、指導担当教諭からアドバイスをもらったりする姿に、自分が教員を目指したころの姿が重なり、懐かしい思いがしました。「卵の模型を作ったら興味がわくかな」とティッシュを固めて卵をたくさん作ったり、自分のつたない授業に書いてくれた学習感想を読んで一喜一憂しながらコメントを返したり、とにかく無我夢中の毎日でした。本校実習生も教材製作やノート分析に誠心誠意取り組んでいました。先週金曜日には、実習生が実習のまとめとして算数の

授業を公開しました。毎日子供たちと触れ合う中で、その子供たちの強みや弱みを把握して教材研究を行ったことがとてもよく伝わる、素敵な授業でした。学級担任と何度も何度も指導案を立て直し、発問や学習課題も吟味しました。おかげで授業では堂々と子供たちと向き合っていました。しかし、何よりも素敵だなと感じたのは、子供たちと実習生が、互いの思いを一生懸命に汲み取ろうとしている人間関係です。これは、私たち教員が彼らから見習わなくてはいけないことです。相手のことを分かりたい、少しでも分かろうと努力を続けることは、人として最も大切にしなければならない思いやりにつながります。すべてはここから始まる、初心忘るべからずです。



# 博労っ子日記「たいさんぼく」



## 【9月2日】全校 防災士会合同避難訓練（シェイクアウトとやま）



博労地区の防災士さんの見守りの下、「地震発生・地震後の水害対応」避難訓練を行いました。訓練後、防災士会の方々から、博労校区で想定される自然災害や避難所の役割等を教わりました。

## 【9月17日】6年生 臨画体験



明治のころ、6年生は、図画工作科で「臨画」を行っていたそうです。手本を真似て絵を描くというのが臨画です。手本は男女それぞれ題材が違いました。ばくろう思い出館の卒業生作品にも臨画が多く残されています。

畳に座り、じっくりと手本を見て筆を動かす時間は、非日常を感じさせてくれました。出来上がった作品は傑作ぞろいでした。

## 集団登校は一列で

毎朝、子供たちが安全に登校できるよう見守っていただき、ありがとうございます。おかげさまで子供たちは、事故もなく元気に登校しております。

さて、博労校区は、156号線や税務署前の道路、駅南に通じる道路等、主要幹線道路がとても多い校区です。登校中の子供たちの様子を見てみると、2列横隊になっている班が多くあります。歩道が広いところもありますが、幅いっぱい広がれば他の通行者の妨げにもなります。また、路側帯しかないところは、1列でないと白線からはみ出してしまいます。

登校班長、全校児童には指導しましたが、朝「気付けて行かれ」「1列でね」とお声がけいただけると嬉しいです。

## ありがたいマンパワー！

2学期から、大学生3名が『学びのアシスト』『スタディ・メイトジュニア』として子供たちを支援してくれています。学習支援や授業補助、休み時間の触れ合いなど、学校にとっても大きな力です。子供たちは大喜び！毎週木曜日が楽しみです。